

## 会議録（１）

会議の名称	第２回 飯能市介護保険事業計画等策定委員会
開催日時	令和２年９月３０日（水） 開会 午後１時３０分 閉会 午後３時３０分
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館 会議室３
議長氏名	小川 晃男
出席委員	孔 炳龍 大野 康 栗林 亨 双木和宏 池田徳幸 鈴木正男
欠席委員	笹岡 勉 木崎幸長 吉田導行
説明者の職氏名	健康福祉部長 町田守弘 介護福祉課長 五十川美也子
傍聴者の数	０人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	○飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画における中長期的課題の評価について ○飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画第７期計画の施策・事業にかかる成果と今後の課題について ○今後の総人口及び高齢者数の推移とサービスの見込量について
事務局職員職氏名	健康福祉部長 町田 守弘 介護福祉課 課長 五十川美也子 介護保険担当 主幹 加藤かおり 介護予防推進担当 主査 横手 広美 地域包括ケア担当 主査 平沼 正行 " 主査 栗島 祐介 介護保険担当 主任 村上 久美恵 " 主任 岩田 葉月

## 会議録（２）

### 議事録の概要（経過）・決定事項

- 1 開会
- 2 議長あいさつ
- 3 議事
  - 1) 第7期計画における中長期的課題及び施策・事業にかかる成果と今後の課題について（公開）

資料に基づき、事務局が説明、質疑応答を行った。
  - 2) 第8期計画策定にかかるサービス見込量について（案）（公開）

資料に基づき、事務局が説明、質疑応答を行った。
- 4 その他
- 5 閉会

## 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会
委員長（議長）	2 あいさつ 小川委員長
	3 議事
事務局	<p>それでは、議事に入らせていただきます。本日は吉田委員が欠席と連絡を受けています。</p> <p>よろしくお願いいいたします。</p>
委員長	<p>しばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>(1) 第7期計画における中長期的課題及び施策・事業にかかる成果と今後の課題についてを議題とします。</p>
事務局	(資料に基づき、事務局にて説明)
議長	これより質疑に入ります。質疑はございますか。
委員	<p>24時間型訪問介護事業所の見込について、具体的にどのように対応していくのですか。管内になければ近隣の事業所がこちらまで来てくれて対応するのかなと思いますが、その見込と、資料2の2ページの目のところで、1(6)の24時間型サービスもC評価で、同じような流れですが、今後の方針はB(継続)であり、市としては他のものよりも優先度が高くない位置づけとなっています。その点について、考えをお聞かせください。</p> <p>2点目は在宅の関係で、訪問にプラスして通所が大切になると思います。3(3)②の通所型サービスも方針はA(拡充)ですが、通所型については、在宅高齢者のリハビリ機能に加えて、家族の休養効能も大きいので、訪問にプラスして通所も両輪で必要だと思います。その位置づけについて教えてください。</p>

事務局	<p>24時間対応の訪問看護事業所のイメージとしては、飯能市域を一つの大きな入院病棟のようなところであると捉えています。</p> <p>自宅にいる方が、ナースコールをしたら駆けつけてくるというイメージです。</p> <p>それを考えた時に、飯能市の市域の広さが大きな課題になっていて、興味を示す事業所もありましたが、市域が広い分、人員の確保や経費の問題を考えると事業所が参入できないようです。</p> <p>そのため、なかなか見込が立っていないのが実情です。そうは申しましても、次期の計画を策定にするにあたっては、必要であると感じているので、参入していけるような工夫を考えていきたいところです。</p> <p>資料2の3(3)の通所型ですが、現在、住民主体によるサービスが現状のところ提供がなされていません。介護者の負担軽減を考えると、事業所の通所型のみならず、地域での見守りや通いの場として通所サービスBが必要と考えています。この点について、第8期計画においても検討していく必要があると考えています。</p> <p>また、市域が広い中で、エリア毎に事業者に対応していただくのも、一つの方向だと思います。</p> <p>まず、どこかの地域で始めて徐々に広げていくような対応ができるとよいと考えています。</p>
委員	<p>第7期の計画では、認知症の施策や介護予防、生活支援サービスで住民参加型の取組が非常に進んだと感じています。住民の皆さんに協力していただきながらサービス構築をしていくプロセスで、市民の皆さんに呼びかけて一緒に協議をしてサービスを作っていく、というところが非常に進んだと思っています。</p> <p>また、色々な人材育成の面で、認知症サポーター等、色々なサポーターがいますが、ふくしの森プランでも、地域の皆さんに一定の勉強をしてもらい、自主的に関わっていただくような人材を育成しています。そのような方々が活動を継続していくためには、人材を取りまとめるところがあるとよいと思います。</p> <p>多様な種類の人材がいて、たくさんの市民の育成をしているが、その後の活動を継続的にしていくには、そういう方々の取りまとめができる部署があって、登録制のようなシステムを作っていくとよいのではと考えています。</p>

委員	<p>今回の資料1と2で特に注目しているのは、期待していた以上の成果が出たら高い成果「A」で、期待していたよりも低ければ「C」とありますが、「期待」というのはどのような意味ですか。</p> <p>一方で、期待が高かったものはCであっても実績がよいものがあります。改善点を考えた場合に、低い評価になったときの原因を明らかにすると分かりやすいと思います。</p> <p>あと、飯能市の時系列的な比較をしていますが、他市町村がどのような対応をしていて、それに対して飯能市はどうか、といった視点で取り入れられるものは取入れるということが大事ではないのでしょうか。企業間の比較を行うように、他の市との比較も入れるとわかりやすくなると思いました。</p>
事務局	<p>「期待」というのは、第7期計画で取組むと書いていたことができているかどうかを基準にしています。</p> <p>数値的には出せませんが、例えば、認知症カフェを設置するという計画の場合、カフェが設置された上で、例えばそこから家族会ができるなどした場合には、期待以上の成果があったということで「A」としました。評価については、わかりやすくなるよう検討していきたいと思います。</p> <p>近隣市との比較については、情報もあるので、それらと比較して取入れられるものがあれば、取入れていきたいと思います。</p>
委員	<p>在宅医療・介護の連携についてですが、私の父が現在、在宅介護を利用しています。去年くらいから体調を崩し、間質性肺炎になって体重も減ってきて、一時は埼玉医大に入院しました。</p> <p>治った段階で在宅医療とし、埼玉医大の先生と東吾野の先生とケアマネジャーとの連携で在宅医療・介護を受けています。</p> <p>週に1回訪問介護を受けたり、月に1回は往診を受けたりして順調に回復してきました。素晴らしい取組だと思います。</p> <p>今回、初めて策定委員会に入りましたが、そもそも地域医療、地域のケアシステムの推進というのは、2025年に団塊の世代の後期高齢者が75歳以上になるということで、介護保険の給付機能や介護現場の労働力不足などを踏まえて、地域全体で見ていくことだと考えてよいのですか。</p>
事務局	<p>いくつになっても住み慣れた場所で、その方が希望するなら可能な限り自宅で過ごせるような体制を整えていこうという考え方が基本にあり</p>

	<p>ます。その社会を作るためには、介護の現場だけでなく医療とも連携して、退院されたときに在宅の人をどう支援していくのかを一体的に作るということで進めています。</p>
委員	<p>団塊の世代が要介護になると、逆に支える側が不足してきます。地域で色々な人の養成をしても、人手が段々無くなるので、団塊の世代を支えられるだけの人材がいるのかが心配になります。</p>
事務局	<p>確かに支える側が不足するという事も考えられます。昔なら家族が看るのが当たり前でしたが、家族だけでなく、地域の方で買い物を手伝ったり、見守りをしたりして助けていただくことが大切だと思います。</p> <p>ただ、地域の方だけにしわ寄せがいくのではなく、ケアマネジャーに従事する人や往診する先生、訪問看護に従事する人、地域の民生委員、社協で活動している地域福祉推進組織など、みんなで協力して支える仕組みを作りたいと考えています。</p>
委員	<p>この後、資料3で国や県、飯能市の人口の推移、高齢者数の推移が出ているので、この後に供給量などの話も詳しく展開されると思います、その説明を受けてから議論したら良いかと思います。</p>
議長	<p>自助・共助・公助と言ったところだと思います。</p> <p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>質疑がないようなので、次に(2)次に、「第8期計画策定にかかるサービス見込量について(案)」を議題といたします。</p> <p>事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(資料に基づき、事務局にて説明)</p>
議長	<p>説明は以上ですが、このことについて質問等があればお願いします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で通所介護が減っていますが、今後の推計については、新型コロナウイルス感染症があったからということはないで、来年度以降を考えていくということですか。</p>
事務局	<p>デイサービスなどは、新型コロナウイルス感染症が無かったものとして見込んでいきます。</p>

委員	<p>新型コロナウイルス感染症と言うことで、いまオンライン診療が普及しつつありますが、オンラインの介護サービスというのも考えられますか。</p>
事務局	<p>実務担当者会議でもオンラインの話は大分出てきています。実際に身体介護はできないにしても、様子をうかがうようなことはオンラインでもできるのではないかという視点で、できることを考えているところです。</p>
議長	<p>オンライン診療は、いま結構使われています。病院でもそういったことを考えていく方向ではないかと感じています。</p>
委員	<p>話は戻りますが、高齢者の居住安定に係る施策のところ、高齢者向け住宅等との表現がありますが、サービス付高齢者住宅（サ高住）が中心だと考えて良いですか。</p>
事務局	<p>高齢者向け住宅等というのは、サ高住や有料老人ホームが入ってきます。</p> <p>ただ、(4)の高齢者の居住安定では、施設に居住の方だけでなく戸建て住宅等にお住まいの方も含まれていると考えています。</p>
委員	<p>サ高住や有料老人ホームは、基本的に飯能市に所在しているので地域と連携がとれていると思いますが、違う県や他市から入ってくる施設は、地域との関係がありません。その時に、実際にネットワークを作ろうと思っても、法人が入ってこないと厳しいかもしれません。</p> <p>あと、介護老人福祉施設の伸びが予定されていますが、私どものイメージだと事業所数は横ばいで、空きベッドが出てきている状況です。</p> <p>この推計だと、他市の特養を使っている人もカウントしていますが、飯能市に特養が4か所あって、飯能市民の比率は5割くらいです。推計値だと伸びていますが、飯能市民の特養の利用率は高くないです。この推移と実際の数値とは乖離があるように思います。その辺をもう少し分析されたらどうでしょうか。</p> <p>もう一つ、市内に養護老人ホームがありますが、そのあり方が問われていて、定員の50人ですが、定員割れを起こしています。</p> <p>しかし、どこの養護老人ホームでもそうですが、それを必要とされている方が意外といいます。</p>

	<p>この近辺だと、川越市に住まいも含めて居場所がない人たちの地域定着を支援する場所として、地域定着支援センターがあります。</p> <p>そういうところから話がありますが、措置だと断られるところが多くて、軽費老人ホームとか、保証人を付けて住居を探したりしないといけないようです。今後の老人ホームのあり方も含めて検討して欲しいところです。</p> <p>飯能市は指定管理で運営していて、毎年同じ内容で更新しているように思います。利用する人も変わってきているので、そこを含めた計画を考えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>サ高住や有料老人ホームと地域の関係について、施設ができる際には県から意見を求められるので、地域との協力体制や連携体制を築くこと、関係を保つこと等を市からの条件として意見を出しています。</p> <p>他市から参入する企業についても、配慮してもらえるように話しています。</p> <p>養護老人ホームの件については、貴重なご意見として受け止め、高齢者の居住の安定ついて検討していきたいと思います。</p>
議長	<p>実態については、事務局で少し調べてください。</p>
委員	<p>推計を見させていただき、令和22年度までは厳しい状況が続くと拝見しましたが、介護予防など要介護にならないような取組が充実していくことが必要だと感じました。</p> <p>社会福祉協議会では、市と一緒に生活支援体制整備事業を進めるほか、基幹型地域包括支援センターもあるので、地域包括支援センターと連携した取組も行っています。</p> <p>第7期計画で、地域の皆さんと一緒にできたというのは、生活支援コーディネーターを社協が受託して、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)と兼務の状況ですが、職員を各地に配置できたのが大きな事だと思っています。</p> <p>ただ、9人いる全てが資格を持った専門職ではなく、9人のうち4人は非常勤職員であるため、同じように進めていくことが難しい面もあります。今後、各地区のCSWや生活支援コーディネーターについては、資格のある正職員を配置したいと社協では考えています。</p> <p>ふくしの森プランと関連して、地域の皆さんと予防的な活動や地域に専門職を配置していくことが大事だと思っていますので、この件について</p>



事務局	<p>てよろしく申し上げます。</p> <p>介護予防に力を入れていく中で、予防を進めていくことが大事です。サポーターと地域を繋いでいくことや、自治会や民生委員とか、新しく手伝ってくださる方を紹介していただくこともあります。各地区の生活支援コーディネーターの力をお借りしないと、市の職員だけではできないことなので感謝しています。職員については予算の関係もありますが、できるだけ努力していきたいと思います。</p>
委員	<p>4ページの下と5ページの要支援・要介護認定者数の推移がありますが、介護予防についても見ているのですか。</p> <p>また、本市にも健康寿命や平均寿命のデータはありますか。健康寿命から平均寿命へ移行するまでの間が介護を必要とする期間になります。そのため介護予防をして健康づくりをしても、寿命が延びると介護する年数は変わらないということは、介護に要するお金も変わりません。逆に、2025年に向けて給付費が増えます。</p> <p>また、県別に比較しているデータで、埼玉県男性は健康寿命がかなり高く、山梨県に次いで2番目で、女性に関しては中間くらいというデータがありますが、本市としてもデータがあれば、今後の推移に活かせると思いました。</p>
事務局	<p>国保連合会からのデータで、本市の健康寿命がどれくらいかということはわかります。他市の状況、県の状況も出ているので参考にしていきたいと思います。</p>
議長	<p>他に質疑はありますか。質疑なしと認めます。</p> <p>では、本日予定していいました議事については、全て終了しました。これをもちまして、議長の職を降ろさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>

4 その他 事務局

事務局から連絡させていただきます。第3回飯能市介護保険事業計画等策定委員会を10月26日(月)13時30分から予定しております。

5 閉会

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和2年 月 日

議長の署名 \_\_\_\_\_